

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学：SOAS, University of London
留学先での所属学部・研究科：
留学先での在籍身分：Exchange Student
留学期間：2015年7月～2016年5月
神戸大学での所属学部・研究科：文学部人文学科
学年（出発時）：4年
本報告書記入日：2016年7月21日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：9月28日

学年終了月日：6月10日

学期：

①9月28日～12月11日

②1月4日～3月18日

③4月18日～6月10日

④__月__日～__月__日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

留学生在が半分以上を占めており、そして社会に対して問題意識をもって行動している人がおおい。開発学や人類学が人気のイメージ。日本学が進んでいる。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

8週間大学で学ぶための語学コースを受講した。その後もサポートは手厚かった。

勉学面でのサポート：

お願いすれば助けてくれる。

精神面でのサポート：

相談する場所や、チューターがいた。

住居・生活面でのサポート：

寮には必ずレセプションで人に相談できた。

課外活動のサポート：

頼れば手厚い。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

場所はロンドンの中心地にあり、どこに行くにもアクセスがよかった。しかし、夜は危ないので一人で出歩くべきではない。フラットによってはうるさいところもあるが、静かにしてくれと言うしかない。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

学校で斡旋されたもの。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

NHS

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮費に含まれていた。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

問題なし。日本学の優れた学校なので日本語を話せる教員や学生も探せばたくさんいる。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

手首を捻挫し、整形外科にいった。医療費は保険で。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

特になし。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

ほとんどクレジットカードで行っていた。ジャパンネット銀行でたまに現金を引き出していた。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

察する文化はないので、思いを伝えることが大事。謙遜はいらない。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

あまりとっていない。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

していない。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

いろんな人や言葉が飛び交い面白い。気をつけていれば危険はないが、日本人は特に狙われやすいので気を抜かないこと。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

ロンドンキャリアフォーラムに参加、エントリーシートを書き、神戸大学のキャリアセンターにメールを送り、添削していただいた。企業にメールを送り、コンタクトもとった。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO _____, 10万 _____ 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

citymapperというアプリを交通機関の検索に使用した。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

日本食。ほとんどなんでも揃うが、高いので。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（TOEIC _____）800 点→帰国後（TOEIC _____）865 点

語学力の向上はゆっくりだが確実に得られた。なにより苦手意識のあった話すことと書くことに関してかなり向上した。語学力よりも、自分の思考の枠組みや常識を揺るがされる体験がたくさんあった。キャリアパスについてもいろんな可能性に目を向けられるようになった。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

出国する前に届いたVISAの期間が間違っており、なんどもセンターに連絡をとったが流れが不透明であり、出国予定日の二日前にようやく訂正されたVISAが返ってきたこと。何事も信じられないくらい遅いので、早め早めの行動かつ、入念な見直しが必要。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

ほとんどサポートはない。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

強く勧める。一人で生きて行く力が身につくとともに、批判的に物事をみる力や、言語が違っていても思いを伝えることの大切さを学ぶことができるし、学生も学ぶことに対する意欲がたく、刺激的な毎日を過ごすことができるから。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 4
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 2
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 2
- ・留学全体の総合的な評価： 4

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	Memory and Militarism on Japanese TV drama	Dr Kirsch	4	1	8	テストはないがessayのword数が多い。大変興味深くおすすめしたい。
2	Global Shakespeare	Dr Pett	2	1	30	予習の量が多いが学ぶことも多い。essayは比較的短い。
3	Japanese Cinema; a critical survey	Dr Centeno	4	1	30	essayのみ。西洋の視点から日本映画の研究ができて面白い。
4	Introduction to social anthropology	Dr Janson	3	1	80	テストが難しいし、予習もとても多いが、毎回のテーマが面白かった。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

小さいクラスほど教員との距離も近く学ぶことも多いと思った。留学生だからといって優遇されることは全くないが、そのために学ぶことも多かった。伝えたい思いがあれば評価してもらえる体制も整っていると思った。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 14万
 - ・住居費：（月額） 10万 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 100万
 - ・食費：（月額） 5万 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 50万
 - ・保険料： 20万
 - ・その他： 語学コース 80万
- 合計： 230万 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

海外経験も少なかったため、言語の問題や授業についていけるか、友人はできるかなど不安でいっぱいであったが、帰国前にはロンドンから帰国したくないと思うほど大学や出会えた友人がかけがえのないものになった。最初に、preessional courseは英語に不安がある人は8週間のコースを受けることをお勧めします。様々な学部に進学する大学院生や学部生と一緒に大学で学ぶための英語について易しく学ぶことが出来ますし、なにより一番心の支えになる友人が出来ます。このクラスが終わった後もpreessional courseで一緒になった学生とはずっと連絡を取り合い毎日のように会っていました。授業が始まってからはもちろん膨大な予習と復習に追われることとなりますが、どれも興味深いテーマが多く、セミナーに参加している学生の学習意欲も高く、批判的な姿勢で意見を交換することが出来、とても楽しいです。最初は苦痛かもしれませんが、遊びの余裕を持って、周りの人を頼りつつ頑張ることで必ず楽しむことが出来ると思います。特に驚いたことはessayに関する指導が本当に手厚いことです。内容のどの部分に批判的要素がたりないのか、いい回しが適切かどうかなどを細かく添削していただけます。英文を書く技術は格段に上がったと思います。ロンドンは本当にいろんな人がいて、SOASにも日本にいたら出会うことのなかったような人にたくさん出会うことが出来る素晴らしい場所です。強く学びたい分野がもしなかったとしても、必ず興味深い授業をみつけることが出来ると思うのでまずは怖がらずにホームページを覗いてみることから始めるといいと思います。英語の試験が大変で諦めそうになることもあると思いますが、その苦労は必ず倍以上に報われます。自分の常識や思考の枠組みを揺さぶられる体験ができます。今ではskypeなどで簡単に日本人とコンタクトをとることもできますし、ロンドンはずごく住みやすく、日本食を手に入れることにも困らなかったのも、海外経験のない人にもお勧めしたいです。